



山本りゅう

ROUTE 前橋 市政継続

市民サービスにはお金が必要です。私はやりくり(無駄を減、税収を増、民間活力)をしながら、市民負担を増やさず、暮らしを支え、健康を守り、経済を回す投資を行ってきました。

責任をもって市行政のリーダーとして全国的にトップレベルの前橋の「生きやすさ」をさらに伸ばして行きます。

私は「公平な心」「決断」「スピード」をもち 2020マニフェスト”を実現します。

約束 高校生までの医療費無料化を決定

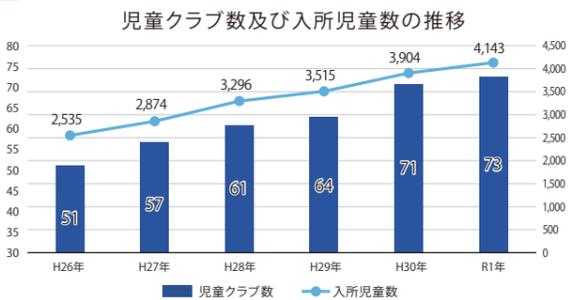
予算額 (ごみの減量によって生み出した3億円から充当します) **2億円** 学校の部活での怪我や病気、高校生の医療費を応援していきます。

幼稚園、保育園、子ども園に運営支援員の配置

予算額 (国の補助75百万と子育て無償化で浮いた財源を充当します) **1.5億円** さまざまな業務が保育の現場に集中しています。保育士や幼稚園教諭の不足は深刻で施設の入園定員も、未満児保育もスタッフ不足で出来ない状況です。保育現場の環境改善が急務です。

学童保育6年生まで拡大中。働くお母(父)さんも安心

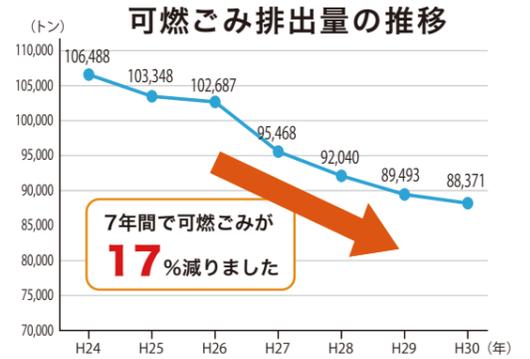
出来ました 病児病後児の預けられる施設も4カ所目が完成



私の任期の間で学童クラブを頑張って増やしてきました。働くお父さんやお母さんの応援になるからです。今では99%の小学生が6年生まで通えるまでになりました。インフルエンザでも預けられる施設も市内に増やしていきます。

御礼 ゴミが減少！延命化修理で六供清掃工場は25年間大丈夫です！

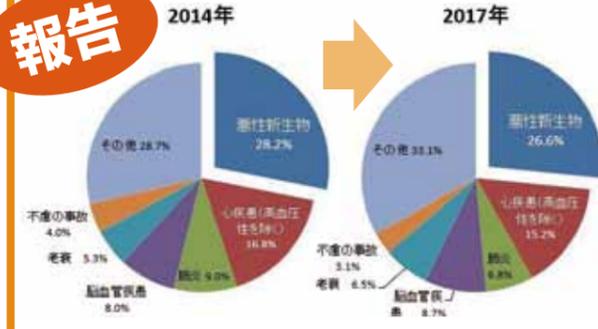
ゴミは減らすのは市長の責任です。今後も市民のゴミ分別や減量をお願いし、古紙・古着・ペットボトルなどの集団回収への奨励を進めます。下増田サッカー場は残せません。しかも、2炉の廃止で貴重な財源3億円が生まれました。



大胡 亀泉が廃止。浮いた財源は **毎年 3億円**

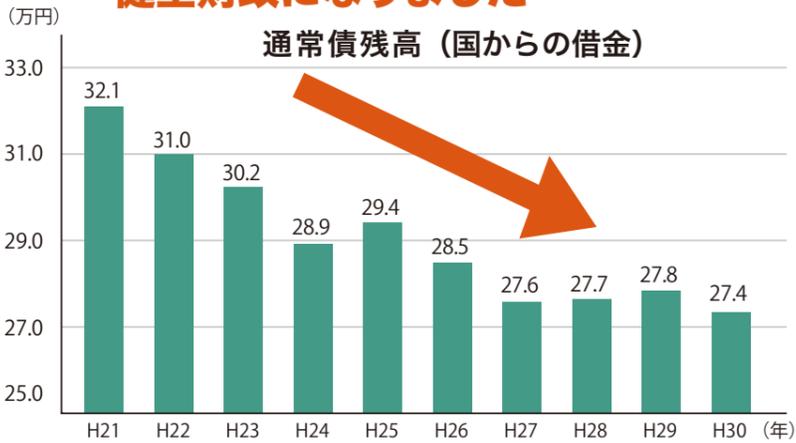
がん検診受診率が第1位(指定都市・中核市)になりました。

報告



私の市長就任からがん検診の無料化を実施し、検診⇒早期発見⇒早期治療を呼び掛けてきました。その結果、受診率の増加と同時に死因に占めるがんの割合が少しずつ減少しています。病気が減れば、国保料に引き下げも可能です。

報告 やりくりを続け 国からの借金を減らし、健全財政になりました

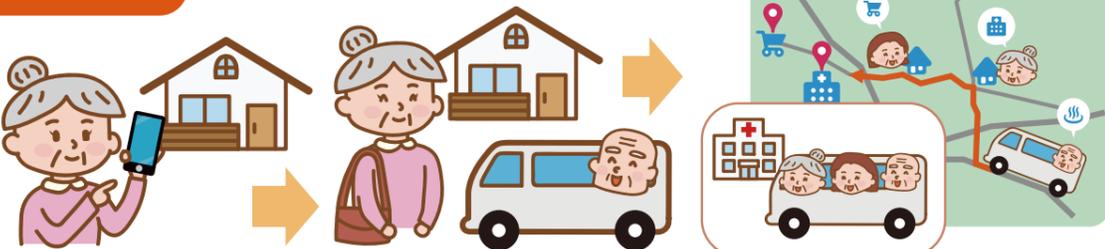


約束 若者の結婚の出会いと働く場を作ります

- 市役所が運営する無料の結婚相談センターをスタート
- 新産業団地を造成し産業誘致します。(西善中内、南部、清里、宮城、既存団地拡張など)
- 事業所税の還元制度の創設で企業経営を支援します
- デリカ産業の食物残差の減量化やリサイクルを支援します
- 小口資金における信用保証料の全額補助期間を延長します
- 高齢農家への補助や6次産業化を応援(前橋の逸品)します
- 農業用施設への償却資産税を減免します

2022年に実現!

マイタクで買物も通院も安心



マイタクを前橋市内全体でもっと利用してほしい。そのためにはマイタクや様々な交通を組み合わせる自宅から目的地まで運べる仕組みを作ります。ボタンを押すだけで迎えが来る仕組みを2022年までに構築します。前橋は政府からモデル都市に指定されています。





前橋市の活力は向上心と郷土愛に基づく社会活動の熱量です。その活動の一つである地域の皆さんのゴミ減量の成果によって、家庭からのゴミの量が減り、なんと六供の清掃工場の改修工事の完了と同時に亀泉、大胡の2清掃工場の廃止することが可能になり毎年3億円の費用を削減することが出来ます。まさに市民活動の大きな成果です。

■市民の善意と力は地域の活性化の根幹です

また地域の自治会活動、生涯学習活動を核にした文化活動、民生児童委員活動、スポーツ推進、公民館でのピンシヤン体操や公園管理などのさまざまな活動を支える皆さんに感謝を申し上げます。



■日赤病院の跡地は高齢者から幼児までの交流施設へ

前橋赤十字病院の解体も進行中です。解体後には高齢者だけでなく世代の交流が出来る機能を民間活力で建設を進めています。
 ・民間が赤十字社から購入して建設する施設＝老人ホーム/デイサービス/薬局/健康増進施設/認定こども園/商業施設/多世代型賃貸住宅/住宅分譲/
 ・前橋市が市有地に建設する施設＝休日夜間診療所(医科・歯科)/福祉作業所/地域コミュニティスペース/公園/道路
 ※今まで日赤病院には固定資産税が免除されていました、日赤跡に建設される民間施設からの新規の納税で、市が行う建設費が約5年ほどで回収できる予定です。これも負担なく事業を進める「やりくり」です。もっと便利になるマイタクに乗って、たくさんの方が集い交流し健康を維持する場所になるでしょう。

住宅、老人ホーム、診療所、商業施設...
日赤跡で多世代交流
 CCR事業基本計画

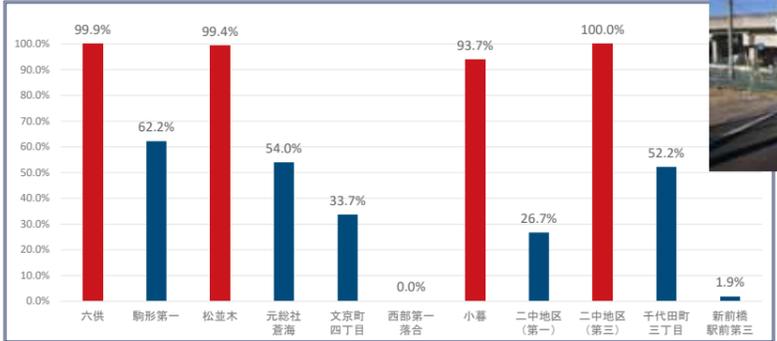
■中央小学校の利活用に新しい価値を誘致しています。

校舎の利用希望の公募を予定しています。条件は体育館と校庭の市民開放です。駅の利用者増につながり、また教育都市としての特色のある教育機関の誘致を進めます。

■市内各地の区画整理事業を進めます

市内11地区で進めてきた区画整理事業のうち4地区が完成します。残りの7地区に投資を集中します。六供区画整理事業では多くの保留地を販売することで市の収入増も出来ます。このように、市役所の投資が地域を善くすると同時に、市の収入増にもなります。文京町や2中地区の事業も大きく進めることが出来ます。朝日町における国道50号から道路改良も検討開始。旧2中校舎の利活用も進めます。

前橋市施行土地区画整理事業進捗状況 (平成30年度末)

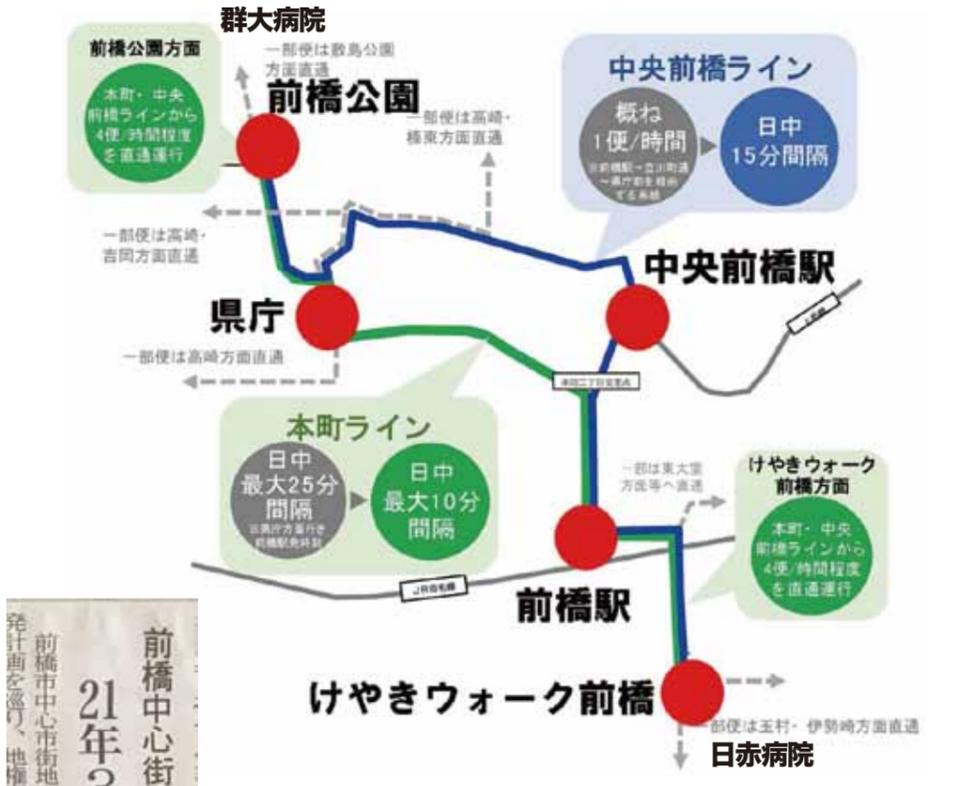


■空き家の解体や利活用を進めて地域資源として活用していきます

○前橋市は空き家特別措置法により危険空き家を強制執行で解体しています。
 ※危険空き家とは・景観・防犯・倒壊・衛生の課題のある空き家です。
 ○地域自治会がコミュニティの醸成の場として利用する場合は改装助成しています。
 ○空き家を利用して市外からの移住の場合には、空き家の改修や解体・新築助成しています。

■JRの市内5駅の乗降客がV字回復しています。

人口を増やす為にも駅の活性化は必要です。各駅を交通の拠点として強化します。駐輪場の整備や駅前広場の利便性を高めます。前橋駅と上毛電鉄中央駅を結ぶ自動運転バスを2022年までに日赤病院と群馬大学病院まで延伸します。



前橋中心街の再開発
 21年3月着工目指す

■スズランや前橋市の駐車場を含む市街地に土地所有者組合によって再開発構想が進んでいます。

■民間資本が前橋を変える



前橋駅では民間資本によるエキータの購入とリニューアルや日本通運の跡地には27階建てのマンション建設が計画されています。5差路の黒いビルはマンションと店舗ビルに建てかわり、広瀬川では住友マンションの販売も順調です。旧白井屋ホテルも民間により改修が進んでいます。調和のとれた市街地を形成するために市民が自ら課した約束「前橋アーバンデザイン」。この進捗を管理・推進する団体も民間主体の法人です。

災害でも水・電気・ガスが止まらないまちを目指しています。
 特に病院や避難所は無停電化を進めます。利根川はじめ市内の河川のリスクを回避するために河川浚渫や、ダム貯留機能の確保、河川の樹木の伐採などを国に要請しました。